

奨励賞

中小企業区分

株式会社日本海開発

※事業者の情報は応募時点(2018年)

所在地	石川県能美市山口町ワ 27 番地
業種	廃棄物処理業
社員数	25 名
受賞歴	なし
ウェブサイト	http://nihonkaikaihatsu.com

地球環境を能美から変えるプロジェクト

取組の目的

いしかわ事業者版 ISO やエコアクション21を通じて、当社の地域での社会的責任の位置づけを明示し、地域貢献、地域の人材育成を進めることが当社の使命と考えている。

同時に、医食住に携わることが出来る事ができる企業であることから「地球環境を、能美から変える」ことを目的として SDGs にも取り組み、社員たちが廃棄物のプロフェッショナルになり自らが循環型社会形成の担い手となることを目的としている。

取組の実績

1) デマンド管理の実施

平成 30 年 10 月 15 日 社内会議室にて「電気のしくみ、使い方」の講習会を行った。

電気のしくみを知ることで、エコアクション21の新たな環境目標への取組を実施していく。

それぞれの設備の消費電力を認識し、上手にデマンドを管理していくことや、基本料金の設定がどのように行われているか知ることで社員の意識も高まった講習会となった。



デマンド管理講習会

2)SDGs の取り組み

平成 30 年 11 月 18 日 根上学習センターで「SDGs をビジネスに生かすセミナー」を行った。

SDGs とは何かの冒頭説明のあと、こうなったらいいなと思う社会のために、4グループに分かれ、午前、午後4回のワークショップを行った。また、2030 年までのムーンショットと題して、「川のごみを半分に減らす。海水温目標 3 度下げる」「ゴミの分別方法は、県内、北陸、全国そして最後には世界共通の分別方法にする」「交通事故ゼロで安定した豊かな生活」「ゴミの排出量半減」など、それぞれのグループでビジョンの案を検討、最後に全社員の討議により、「地球環境を能美から変える」をスローガンに、「世界共通の分別基準を能美から発信する」ことを 2030 年ビジョンとして、自己宣言を行った。



SDGs 研修会

本研修の結果、社員一人ひとりが、廃棄物処理のプロフェッショナルとしての自覚を高めた研修となった。

3)排出量算定取組実施

食品残渣を利用した JAS 認定有機資材を、製造販売している。その中で循環型社会形成の環づくりを確立するため、能美市内の小学校での環境教育や出前講座、そして生産者の販路支援を行った。

その中で自らが排出している温室効果ガスを環境省推奨の支援に基づき算定し知ること、減らす、若しくはオフセットの糸口を考え、これらの努力を行う事は SDGs に繋がっていくと認識している。



地域の小学校での出前講座の様子

成果・課題

- ・ 社員自らが廃棄物処理のプロフェッショナルであることを認識できた。
- ・ 資源再生にもっとも近い事業を行っている。
- ・ 環境貢献事業であることを発信できる位置づけにある

今後の改善

エコアクション21の目標にデマンド管理での取組を生かし実践し、SDGsの定期的ミーティングを行い目標に向かって取組む。

関連補足情報

1. SDGs 自己宣言ページ
<http://hikaritaiyou.jugem.jp/>
2. 環境活動レポート平成 29 年度版
<http://ea21.jp/list/pdfn/0011387.pdf>

審査委員会からの講評

「地球環境を能美から変える」という経営目標を掲げて SDGs にも取り組み、循環型社会の担い手となることを意識して人づくりを進めている点が評価できる。石川版 ISO やエコアクション21に取り組み、従業員全員が参加する環境講習会を開催して社員の環境意識向上を図っている。また、SDGs をビジネスに生かすことを議論するワークショップを1日かけて実施し、ゴミ対策や町づくりに対する意見を社員が出し合い、「世界共通の分別基準を能美から発信する」ことを2030年ビジョンとして自己宣言を行った点は、中小企業として早い取り組みであり、評価できる。食品残渣を活用したJAS認定有機食材を製造販売しており、生産者の販路支援や小学校への出前授業を実施するなど地域にも貢献している。体系的にやや欠ける部分があり、今後は職場の専門教育とあわせて環境人づくりを整理するとさらによいだろう。